

### 【2018年6月16日～2018年6月22日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円ともに上昇しました。またトルコの2年国債金利も上昇しました。

トルコ市場は週末の大統領選挙と議会選挙を控えて様子見姿勢が強く、週を通して比較的小動きな展開となりました。発表された経済指標は好調なものが多く、5月の住宅販売や6月の消費者信頼感指数などが改善しました。

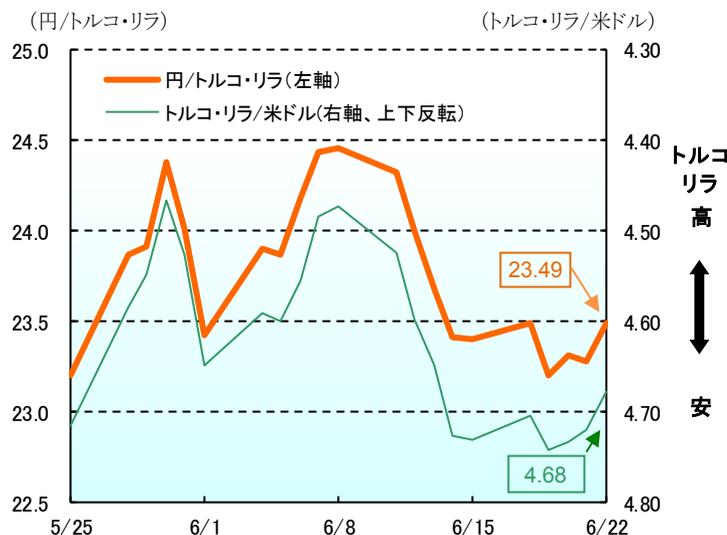
#### 【2】今週の見通し

今週は、経済指標では6月の設備稼働率や5月の貿易収支などが発表されます。

24日(現地)に行われた大統領選挙では、エルドアン大統領が過半数を獲得し、再選を果たす見込みとなりました。また、議会選挙でも与党・公正発展党(AKP)は単独過半数を失うも、選挙で協力している民族主義者行動党(MHP)との連立では過半数を確保する見通しとなりました。

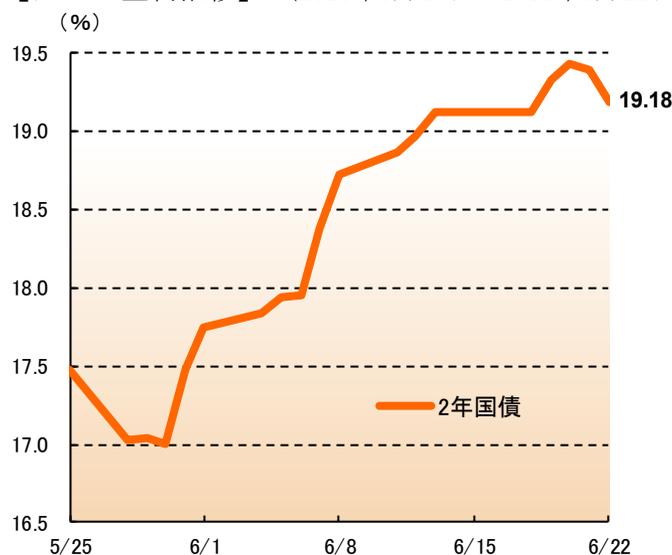
大統領選挙と議会選挙ともに与党が勝利したことで、当面は政治的な安定が見込まれます。しかし、今回の選挙を機に、トルコは議院内閣制から大統領制に移行する予定で、大統領の実権がより強固になります。エルドアン大統領は、再選した際には金融政策に対してより多くの責任を担うとの主旨の発言をしており、中央銀行への政策介入に対し、市場の警戒が続くと考えられます。中央銀行の独立性が脅かされる場合には、トルコ・リラが再度売られる可能性があります。引き続き、エルドアン大統領の政策運営に注意が必要と考えます。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年5月25日～2018年6月22日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】 (2018年5月25日～2018年6月22日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>